

エコカートによる地域活性化

～ 交通弱者（高齢者等）と観光客の移動手段の確保～

次世代交通対策事業実績報告



輪島商工会議所

輪島市の紹介

- 能登半島の北西に位置し、豊かな緑と海に囲まれたまち
- 人口は28,624人（平成28年6月1日現在）
- 輪島塗や朝市などで全国的に有名
- 平成27年度前期連続テレビ小説「まれ」の舞台となり、注目を集める



天神山～輪島港・市街地



輪島塗



朝市

写真：能登輪島観光情報「輪島ナビ」

背景

- ✓人口減少、少子高齢化
- ✓自治体の財政難
- ✓公共交通機関の利便性の低下



目的

- ・高齢者等の移動手段を持たない地域住民の安心安全を守る
- ・観光客への利便性の高い移動手段の提供により「ホスピタリティ都市 輪島」の魅力向上
- ・コミュニティバス運行などの自治体の費用負担の軽減 等



エコカートによる新交通システムの構築

エコカートの特徴

使用車両

ゴルフ場のカートにウインカー、バックミラーなどを備え付け、軽自動車のナンバーを取得

○車両の外観



○車両の主要諸元

全長	3,120mm
全幅	1,329mm
全高	1,837mm
車両総重量	770kg
乗車定員	4名
最少回転半径	3.4m
モータ出力	3.5kW
最高速度	19km/h

<エコカートの特徴>

- ① **まちを楽しめる**～ゆっくりとした速度(6~20km/h)で走行
風景を楽しめ、乗り心地も良く、静か
- ② **乗降りがしやすい**～低床構造で高齢者や子どもにも乗降り
しやすい
- ③ **環境に優しい**～電動なので排気ガスを出さない
- ④ **低コスト**～自動運転により、将来的には無人運転も可能

- ✓ 少し遠くても気にせず観光できて良かった。子供がいると歩くのがイヤがるので子供もイヤがらずのってくれて良かった。
- ✓ ゆっくりと風景が見られてとても楽しいです。
- ✓ 年もいっているから、ちょっとしたところに利用できれば良い。足の悪い人もいるし、買い物、なんでもちょっとしたことで利用できる。乗り降りしやすい車両でもある。はやく事業規模を広げてほしい。
- ✓ ゆっくりたのしく乗せていただきました。安全対策もされていてよかったです。
- ✓ 小さい子供がいるとなかなか出掛ける事が出来ないので、出掛ける切欠につながる。
- ✓ 交通機関のエコ化に役立つよいアイデアだと思います
- ✓ 短距離移動が楽。歩くと遠いが車を使うまでもない距離に適當。これから老人世帯が増えるので、生活するのに便利かと思います。

これまでの取り組み

<これまでの取り組みの経緯>

H22	新二次交通導入に向けた調査	①観光客や地域住民の交通手段の調査 ②先進地の視察
H23	エコカートの公道走行並びにナンバー取得	①次世代二次交通の社会実験 ②構造改革特区申請の提出（⇒×不認定）
H24	次世代二次交通事業の継続した社会実験並びに周知活動	①次世代二次交通の社会実験（継続）
H25	次世代二次交通事業の継続した社会実験並びに周知活動	①次世代二次交通の社会実験（継続） ②構造改革特区申請の提出（⇒×不認定） ※協議を継続 ③エコカートの軽自動車ナンバー取得
H26	軽自動車ナンバー取得したエコカートでの調査走行	①エコカートの軽自動車ナンバー取得 ②次世代二次交通の調査走行 ③次世代交通対策協議会の設立
H27	軽自動車ナンバー取得したエコカートでの調査走行	①次世代二次交通の調査走行

平成27年度の実施内容①

- ・平成27年度は年間を通して運行
- ・7月以降は、病院・商業施設利用など主に地域住民の利用を想定した輪島病院ルートを追加

<調査走行の実施概要>

日程	走行ルート	乗車人数
第1弾 H27.3.18 ～6.30	道の駅 輪島ふらっと訪夢～輪島朝市～観光案内所～輪島キリコ会館～輪島工房長屋～足湯等の観光スポットを周回	786人
第2弾 H27.7.1～ ※8/28～ 2台増車し、 4台体制	○キリコ会館コース ・道の駅 輪島ふらっと訪夢 ・輪島朝市 ・輪島キリコ会館	1,384人 (内訳) 地元利用 30% 観光客 70%
	○輪島病院コース ・道の駅 輪島ふらっと訪夢 ・商業施設 (ファミイ等) ・輪島病院	

平成27年度の実施内容②

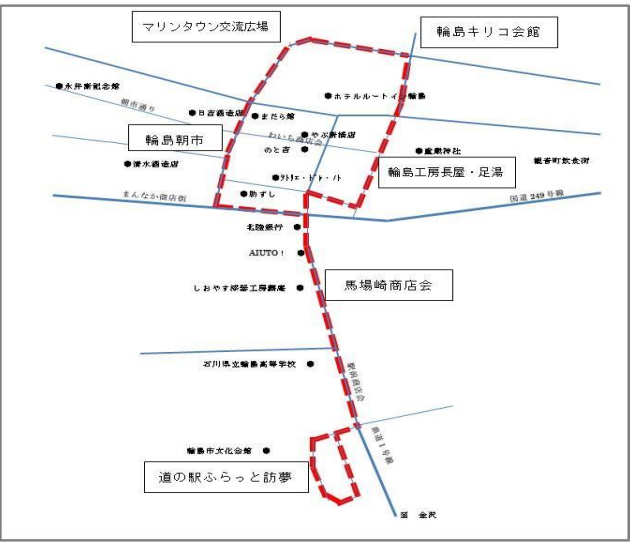
<実施場所>

第1弾
第2弾：輪島キ
リコ会館コース

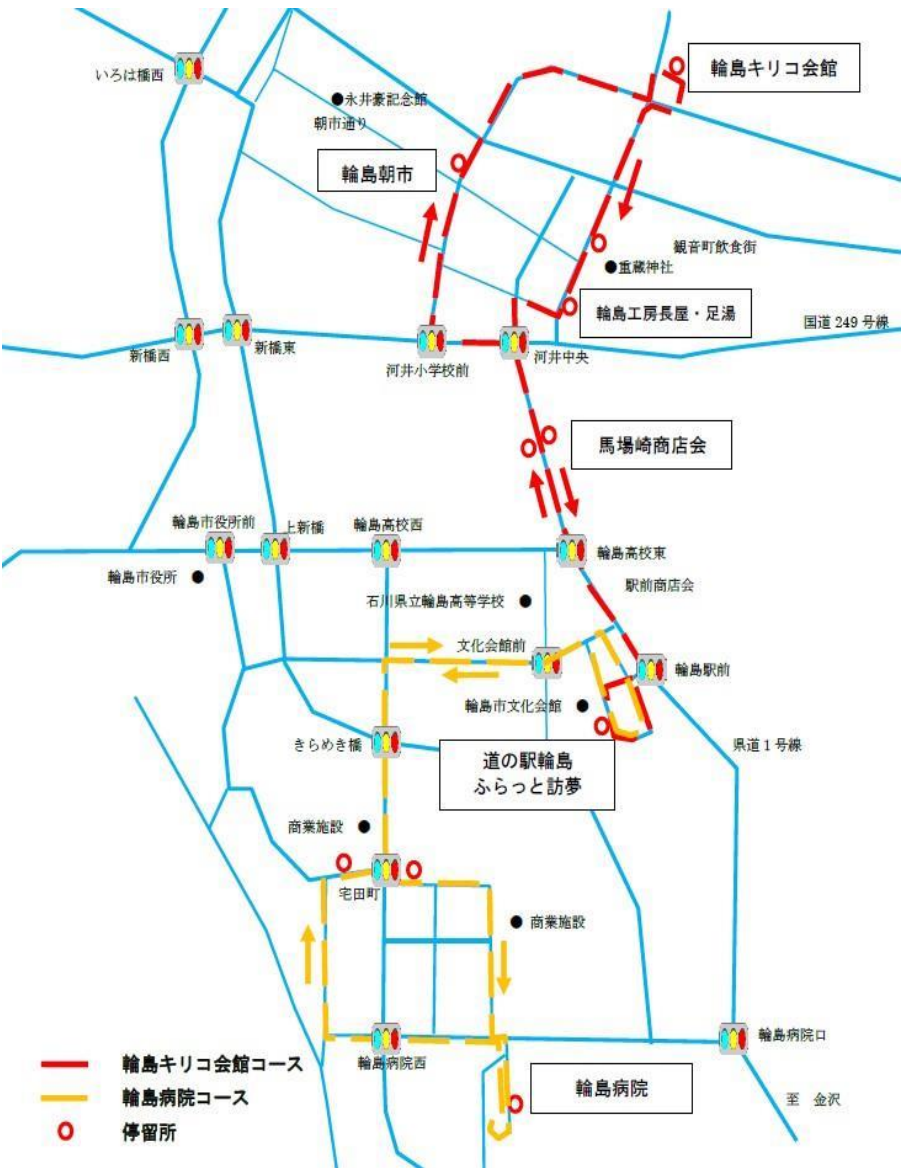
第2弾：輪島病
院コース



<コース図 (第1弾)>



<コース図 (第2弾)>



平成27年度の実施内容③



課題と今後の取り組み①

<平成27年度の取り組みと課題>

新交通システムの構築に向けて、年間を通して運行・広報を実施したことで、利用客も増加に至った。4～6月は、観光客が大半の利用であったが、7月以降から地元住民の利用が増加し、利用数2,170名（地元住民利用30%、観光客利用70%）であった。

地域住民や観光客利用者の多くから、市内の各地区への走行を行ってほしいなどの多くの要望があったことから、次世代交通の事業取組みをより一層促進させる為、次世代交通対策協議会の活用・支援を頂き、行政などと連携を図り、更なる事業展開に繋げていく必要がある。

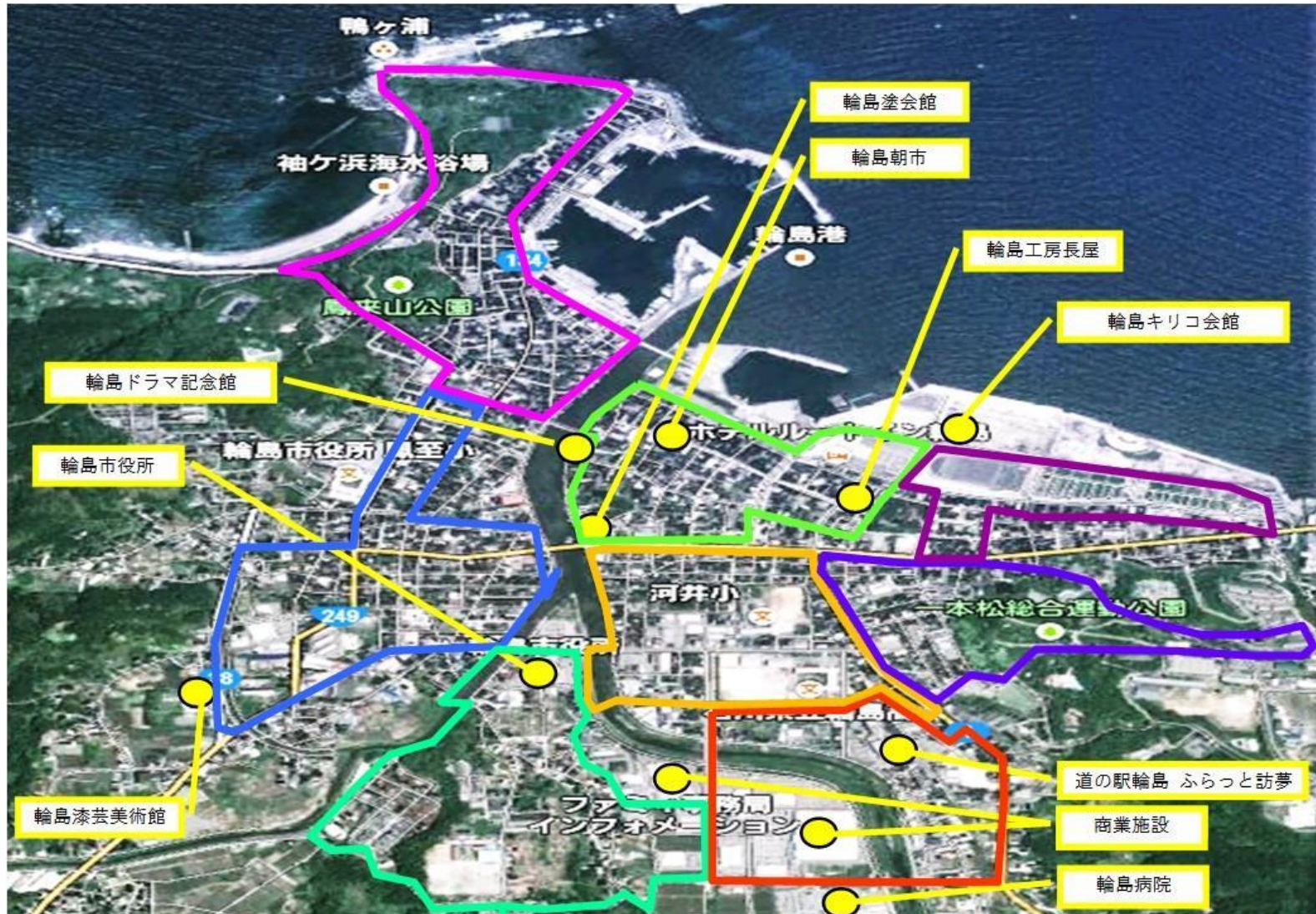
<今後の取り組み>

今後は、協議会の指導の下、エコカートで観光客の足として市内観光スポットを結ぶルート並びに公共施設や医療機関、商店街などを結ぶ地域住民の生活に密着したルートの数を増やすなどの更なる次世代交通の運行を実施し、地域の活性化を図ることを目的に本事業を進める。

課題と今後の取り組み②

<事業計画：輪島市街地での走行ルート（予定）>

8つのルートを設け、自動走行するエコカートで街全体をつなぐ



<参考資料>

これまでの取組み

平成22年度

<新二次交通導入に向けた調査>

①観光客や地域住民の交通手段の調査

内容 道の駅「ふらっと訪夢」・マリントウン交流広場・能登空港で、観光客や地域住民に対して交通手段調査を行った。

- ・観光客や地域住民の輪島市内での交通手段を把握することができた。観光客は、朝市などの観光地周辺では徒歩での移動が主であり、地域住民は徒歩或いは自家用車での移動が大半を占めた。

②先進地の視察

- ・ベロタクシー（敦賀市、名古屋市）、路面電車／ライトレール線（富山市）、人力車（高山市）などの交通機能が確立されており、運営や課題について情報収集ができた。新二次交通導入には、使用する車両や運営形態についての、より具体的な検討が必要であると感じた。

平成23年度

<エコカートの公道走行並びにナンバー取得>

①次世代二次交通の社会実験

内容 社会実験を実施【5回】（マリントウン内にて）

- ・環境に配慮した車両としてエコカートを業者より、ベロタクシーを敦賀観光協会より借用し、初回の社会実験を実施した。
- ・現行法では、エコカートは公道を走行することができず、ナンバー取得が不可能な車両であることがわかった。運輸支局や警察署などに相談し、道路使用許可申請を行い社会実験の実施に至った。
- ・社会実験を実施するごとに、地域住民（家族連れ・高齢者）や観光客の方々に関心を持ってもらい、マリントウンだけでなく輪島市街地の走行を実施してほしいなどの意見を頂いた。

②構造改革特区申請の提出

内容 内閣官房地域活性化統合事務局や市等と相談のうえ、エコカートのナンバー取得に向けて、特区申請を行った。

- ・申請の結果では、「構造改革特区として対応が不可能であるもの」であったが、今後の展開に活用できる情報収集ができ、それらの内容を盛り込んだ内容で次期に再度申請することとなった。

平成24年度

<次世代二次交通事業の継続した社会実験並びに周知活動>

①次世代二次交通の社会実験（継続）

内容 観光地を利用した社会実験を実施【9回】（白米千枚田、マリントウン内など）

- ・これまでの社会実験や周知PR活動により、日本商工会議所地域活性化専門委員会や日本交通計画協会などが視察に訪れ、事業内容に強い関心と評価を頂いた。ヤマハ発動機からは実験走行用として2台の車両の貸出協力をいただき実施に至っている。

平成25年度

<次世代二次交通事業の継続した社会実験並びに周知活動>

①次世代二次交通の社会実験（継続）

②構造改革特区申請の提出

③エコカートの軽自動車ナンバー取得

平成26年度

<軽自動車ナンバー取得したエコカートでの調査走行>




①エコカートの軽自動車ナンバー取得

②次世代二次交通の調査走行

③次世代交通対策協議会の設立

年度	日程	実施内容	
平成 22 年度	9月2日、19日 10月中旬 11月中旬 12月9日～10日	交通手段調査(マリタウン内) 交通手段調査(能登空港) 交通手段調査(道の駅 輪島) 集計数 652名 先進地視察 (敦賀市、名古屋市、高山市、富山市)	  
平成 23 年度	5月10日 6月上旬～下旬 6月25～27日 7月4日 7月上旬～中旬 8月7～11日 9月8～9日 9月13日 10月 11月6日 11月20日 2月17日	運輸支局とエコカートのナンバー取得について相談 輪島警察署と次世代二次交通社会実験について相談 次世代二次交通社会実験 (マリタウン岸壁～朝市駐車場間を運行) 運輸支局へエコカートのナンバー取得について相談 輪島警察署と次世代二次交通社会実験について相談 次世代二次交通社会実験 (マリタウン岸壁～朝市駐車場間を運行) 次世代二次交通社会実験 (マリタウン岸壁～朝市駐車場間を運行) 次世代二次交通社会実験 (マリタウン岸壁～朝市駐車場間を運行) 輪島市企画課とエコカートのナンバー取得で相談 ※構造改革特区申請の準備を進める 警察及び行政関係者との社会実験における意見交換 次世代二次交通社会実験 (ルートイン・工房長屋・観光交流施設間を運行) 試験施工に伴う景観の確認	   

	<p>2月中旬</p> <p>2月28日</p>	<p>※走行ルートへの銅線埋設(一部)</p> <p>輪島警察署と次世代二次交通社会実験について相談</p> <p>構造改革特区申請を提出</p> <p>結果:特区として対応不可であった</p> <p style="text-align: center;"><u>社会実験での乗車人数 870人</u></p>	
平成24年度	<p>4月28日</p> <p>5月1日</p> <p>5月25日</p> <p>7月11~13日</p> <p>7月13日</p> <p>7月15日</p> <p>8月1日</p> <p>8月上旬</p> <p>8月18~19日</p> <p>9月20日</p> <p>9月29日</p> <p>10月3日</p> <p>10月中旬~下旬</p> <p>11月3日</p> <p>11月15日</p>	<p>輪島警察署と社会実験の内容で相談</p> <p>次世代二次交通社会実験 (マリンタウン岸壁~朝市駐車場間を運行)</p> <p>構造改革特区申請で内閣官房地域活性化統合事務局へ相談</p> <p>丸ビル物産展にて事業取組のPR</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局と相談</p> <p>次世代二次交通社会実験 (ルートイン・工房長屋・観光交流施設間を運行)</p> <p>事業視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本商工会議所 地域活性化専門委員会 ・日本交通計画協会 <p>輪島警察署と社会実験の内容で相談</p> <p>次世代二次交通社会実験 (陸上競技場外周を運行)</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局と相談</p> <p>※ナンバー付電気自動車の活用</p> <p>次世代二次交通社会実験 (マリンタウン岸壁~朝市駐車場間を運行)</p> <p>事業視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマハ発動機(株) <p>次世代二次交通社会実験 (マリンタウン岸壁~朝市駐車場間を運行)</p> <p>※ヤマハ発動機より車両提供</p> <p>輪島警察署と社会実験の内容で相談</p> <p>世界農業遺産「千枚田」での次世代二次交通社会実験</p> <p>次世代二次交通社会実験 (ルートイン・工房長屋・観光交流施設間を運</p>	  

	<p>11月30日</p> <p>12月7日</p> <p>3月6日</p>	<p>行)</p> <p>(株)光岡自動車へ訪問</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局と相談</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局と相談</p> <p style="text-align: center;"><u>社会実験での乗車人数 1,300人</u></p>	
<p>平成 25 年度</p>	<p>9月上旬～下旬</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>9月26～27日</p> <p>10月上旬</p> <p>10月12～13日</p> <p>10月28日</p> <p>1月8日</p> <p>1月10日</p>	<p>輪島警察署と社会実験の内容で相談</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局に構造改革特区申請の事前相談</p> <p>次世代二次交通社会実験(公道走行) (輪島病院～商業施設(商店街)間を運行)</p> <p>輪島警察署と社会実験の内容で相談</p> <p>※ナンバー取得された車両でないと走行できず、過去の実績がある場合でも許可が出なくなった。</p> <p>マリンタウン内駐車場にて社会実験走行</p> <p>※市有地である為、走行可能</p> <p>構造改革特区申請を提出</p> <p>「小型特殊自動車としてナンバー取得」</p> <p>結果:既に施行されている現行規定は、一部の規程が対応可能であることを確認</p> <p>内閣官房地域活性化統合事務局に具体的な事項の提示を求めた</p> <p>製造メーカーよりゴルフカートを改良し、軽自動車としてナンバー取得の可能性があらうとの説明があった</p> <p style="text-align: center;"><u>社会実験での乗車人数 287人</u></p>	  

<p>平成 26 年度</p>	<p>5月～9月 10月9日 10月17日 11月11日 11月12日 11月16日 11月17～28日</p>	<p>製造メーカーと設計・規制内容で相談 運輸局関連機関に対して事業説明及び 申請内容・ナンバー取得までの確認 次世代交通対策協議会の設立並びに第 1回開催 エコカート(ゴルフカーベース)での車両に よるナンバー取得</p>  <p>次世代交通対策協議会第2回開催並び に次世代交通対策事業出発式 ※全国で初めて、ナンバー登録されたエ コカートによる、調査走行が開始</p>  <p>次世代二次交通対策事業 調査走行 (輪島朝市・工房長屋・ 観光交流施設間を周回運行) ※輪島かにまつり開催日にて 次世代二次交通対策事業 調査走行 (道の駅輪島ふらっと訪夢・輪島朝市・ 工房長屋間を周回運行)</p> 	     
-------------------------	---	---	--

	2月9日	<p>輪島市では「低炭素地域づくり」に向けて自然を守る為、電気自動車普及促進によるCO2削減プロジェクト「WAJI-ZERO」がスタートし、エコカートも事業協力車両となる</p> <p style="text-align: center;"><u>調査走行での乗車人数 305人</u></p>	
平成27年度	<p>3月18日～ 6月30日</p> <p>7月1日～</p> <p>8月28日</p>	<p>次世代二次交通対策事業 調査走行 (道の駅輪島ふらっと訪夢・輪島朝市・工房長屋間を周回運行)</p> <p style="text-align: center;"><u>乗車人数 786人</u></p> <p>次世代二次交通対策事業 2コースでの調査走行実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪島キリコ会館コース (道の駅輪島ふらっと訪夢・輪島朝市・工房長屋間を周回運行) ・輪島病院コース (道の駅輪島ふらっと訪夢・ファミイ前・輪島病院間を周回運行) <p>車両2台追加になり、合計4台となる</p> <p style="text-align: center;"><u>乗車人数 1,384人(3月末まで)</u></p> <p style="text-align: center;">地元利用 27.3% 観光客 72.7%</p>	  

当事業におけるこれまでの新聞記事

北 陸 中 日 新 聞 2011年(平成23年)8月12日(金曜日) 【能登】 16

輪島商工会議所は七日から十一日までの五日間、輪島市マリンタウンで、電動カートの試験走行を行った。バスや自家用車を離れた後の二次交通としての可能性を見すえた実験。早ければ九月にも市街地で走らせたという。(小塚景)

帆船「海王丸」が輪島港に寄港したのに合わせて実施。六月に客船「ふじ丸」が入港した時に三日間行ったのに続く試みで、輪島港から朝市近くまで約一キロの巡回コースで運行させた。連日、朝市や船の見物に訪れた人ら百人以上が利用した。

車で移動するには近く、歩くには少しばかり遠い距離を早歩きほどの速度で進む。主にゴルフ場が使われている電動誘導式のカートで五人乗り。一度に多くの人を運ぶことはできない。

輪島商議所 2次交通の実験快調

来月にも市街地走行を開始

が、棋力を出さず、自動カーなど同センター運転可能で、将来的にはを実施。結果を基に今後、無人化も視野に入れる。道の駅「のら」と訪客一、同商議所は、利用者に対し立輪船病院、朝市など一市街地を観光名所へ運ぶほどの距離を走らせる意向とした時には利用します。向を待つ。



連日、家族連れらが利用した電動カート—輪島市マリンタウンで

能登名物 おたけまき
伊東子司 たにぞち
住所 能登町水町新町1-501
☎0120-292112

ル、第一、水産物、受贈生、高橋邦、お花が大好き、の時から回って、は楽しんで、い

平成23年8月12日 北陸中日新聞

北 陸 中 日 新 聞 2011年(平成23年)11月21日(日曜日) 【能登】 18

朝市近くを走る電動カート—輪島市河津町で

輪島商議所が試験走行 電動カート 市民の足に

輪島商工会議所は二十日、輪島市マリンタウンで、市街地での運行を見据えた電動カートの試験走行を行った。

これまで輪島港への客船寄港に合わせて、六月から計四回、輪島港と朝市近くまでを結ぶ一キロのルートで行ってきた。今回は「輪島かまづり」の開催に合わせて実施。コースを兼ねてマリンタウン駐車場を巡回する八百坪のコースで行った。

ゴルフ場が使われて

市街地運行 病院ルートも計画

ある電動誘導式のカートを使用。かまづりに訪れた人や地元の子供たちが利用した。近藤和也県議員も試乗し「気持ちいいですね」と感想を述べた。

同商議所はバスや自家用車で輪島を訪れる人向けの二次交通として市街地の運行や、市町の民の足として病院を巡れたらと、担当者は「来年度中には公道で走らせるようにしたい」と話している。(小塚景)

民謡 舞踊 華やく 舞台

能登名物 おたけまき
伊東子司 たにぞち
住所 能登町水町新町1-501
☎0120-292112

◆去来・県外、太極拳の普及促進(受け付け)◆季節の香川輪スクリスマスアレシ—20日(土)後1:30~3:30、受講料1,200円(材料費200円、税込)【新島集市中】大橋第一母

きょうの催し
北陸中日文化センター
0767(53)7511

平成23年11月21日 北陸中日新聞

電動カートで気軽移動

輪島商議所 初の公道試験走行

輪島商工会議所は市街地の回遊性を向上させようと、電動カートを使った社会実験を重ねている。二十六、二十七の両日には、輪島市内の公道で初の試験走行を実施した。(松瀬晴行)

市内の高齢化率は39・1%を大きく上回る。お年寄り(四月現在)と、県の25・2の買い物や病院への移動手段



公道で初めて試験走行した電動カート車。輪島市宅田町で

高齢者支援や観光振興に期待

の確保に加え、バスや車で訪れた観光客が市内を巡る際、気軽に使ってもらおうと、二〇一〇年度から調査を始め、一、二年度にはマリントウ駐車場や千枚田ポケットパーク周辺で試験走行した。今回は同宅田町のシヨツピングモール沿いの公道(片道二百二十び)で実施。排ガスを出さない、環境に配慮した電磁誘導式の電動カート(五人乗り)を時速六十キロで走らせ、二日間で五十四人が試乗した。

同市里町の会社員今寺四郎さん(六〇)は「乗り心地は非常に良かった。走る場所にもよるが、移動手段がない高齢者は喜ぶだろう」と話した。

全国に先駆けた新交通システムプロジェクトで、商議所は現在、二度目の特区申請に向けて準備を進めている。担当者は「高齢者支援と商店街の活性化を結び付け、観光振興にもつなげるため、事業を軌道に乗せたい」と意欲をみせる。

公道で初の社会実験

電動カート 輪島の足に

市街地の回遊性を高める新たな交通手段として電動カートが公道で走る社会実験、輪島商工会議所が27日、輪島市内で実施した。高齢者や交通弱者の外出を支援するとともに、北陸幹線金沢開業を見据え、高齢の観光客が安心して手軽に回遊できるようにするプロジェクトだ。公道での正式走行に向け、年度内に国に対し、構造改革特区の申請を行う。

商工会議所、特区申請へ

公道走行実験市立輪島病院付近のヨシバセンターを結ぶ市道約300メートル、警備の道路使用許可を得て、一般車用者の54人が静かにゆっくり走るカートの乗り心地を体験した。電動カートはゴルフ場で用いられるタイプだ。ボタンを押すだけでこの取り組みの特徴として、運転手が必要ない点が挙げられる。電動カートはスタートボタンを押すだけで、路上に張り



プロジェクトは高齢化率約4割と高く、観光都市でもある輪島に適した交通機関を採つと里

観光客やお年寄り 自動運転らしく移動



公道を走行する電動カート。輪島市市道

谷光弘会頭の提案でスタートした。駐車場までの実験を経て、今回初めて公道を走った。誘導線埋め込み年度内に特区認定が得られれば、来年度は輪島市の玄関口である道の駅「輪島」を起点として、朝市を結ぶルートをもモデルコースを設定し、誘導線を道路に埋め込んだ上で、ナンバー付き特殊車両として公道を走る。当初はガード役が同乗し、その後、自動運転の利便性をかきし乗客だけの走行に発展させたい考えだ。

輪島商工会議所は、静かなカートの公道を走らせることで、観光客と地元住民の交流を促進したいとし、将来には市街地全体を結ぶような電動カートが、観光客の魅力を創出し地域の活性化を目指す。

社長遺棄容疑で従業員2人逮捕
警視庁
東京都立川市で今月中旬から行方不明になっていた木会社社長の男性の遺体が26日、埼玉県所沢市の資材置き場で見つかり、警視庁捜査1課は26日、死因を死体検閲でいまだ不明のまま、従業員2人を逮捕した。容疑者(2)と花田志志(2)を逮捕した。元調査が依願退職したことや被害者(1)と志志(2)が関係者であるとみられる。

父の葬儀後、喪服で逃走
27日午後2時25分ごろ、静岡県警沼津署に窃盗容疑者の内容。父の葬儀に出席するため、27日午後1時から午後2時40分の間、勾留が停止された。勾留が停止されたため、父の葬儀に出席した。父の葬儀に出席した。父の葬儀に出席した。父の葬儀に出席した。

窃盗疑いの元調査
起訴猶予処分
金沢区検
金沢区検は27日まで、石川県警察学校の入校中の同僚男性の遺体遺棄の疑いで、元調査の男性(2)を起訴猶予処分とした。元調査が依願退職したことや被害者(1)と志志(2)が関係者であるとみられる。

貨物船転覆1人死亡

4人心肺停止、1人不明

伊豆大島沖

27日午前1時55分(フイ)の0602が、伊豆大島沖で転覆した。乗客4人が死亡、1人が行方不明、1人が重傷、1人が軽傷を負った。

午後4時すぎ、水中で発見された乗客の遺体。伊豆大島沖で、貨物船「ハリス」が転覆した。乗客4人が死亡、1人が行方不明、1人が重傷、1人が軽傷を負った。

石川県磯部支所所長が、伊豆大島沖で転覆した貨物船「ハリス」の乗客4人の遺体を発見した。乗客4人が死亡、1人が行方不明、1人が重傷、1人が軽傷を負った。

伊豆大島沖で、貨物船「ハリス」が転覆した。乗客4人が死亡、1人が行方不明、1人が重傷、1人が軽傷を負った。

子ども達が楽しく学び、自然に心が育つ 40.64坪 127.54坪
素足で走り回れる「無垢材の床」やオアシス・アスリートが育つようあらゆる空間に子育てのためのヒントがいっぱい!!
子育てセンターキッチン
アスレチックバスケットコート
子どもたちのための30畳のかくし部屋

輪島の新交通 出発

会議所が全国初

電動カート公道走行

輪島商工会議所は12日、全国初となる電動カートの公道走行を実施した。ゴルフ場のカートを探検に転用したまちなかの気軽な足に活用する事業として、国土交通省が規制を緩和し、ナンバー付きでの走行が実現した。人口減少時代に入り、高齢各地の地方都市で公共交通の維持が難しくなる中、運用コストを抑えられる輪島発の新交通システムとして、将来は自動運転での市街地循環を目指す。

自動運転を視野に

観光客や高齢者の利用を想定する電動カートは4人乗りで、輪島商工会議所などで行う次世代交通対策協議会が準備を進め、2台で軽自動車ナンバーを取得した。ゴルフ場カートの最高時速を10キロに抑え、ウインカーやバックミラー、各種ランプを備える改良で安全基準を満たした。1回の充電で20〜25キロ走行できる。



全国で初めてナンバーを取得し、公道を走行する電動カート
— 輪島市河井町

輪島市の高齢化率は40・5％まで高まっており、民間のバス路線を補う交通手段として市がコミュニティバスを3系統で10台を運行しているが、高齢者が「買い物難民」の対策はまだまだ十分だ。

地方の路線バスは乗客減少で運営収入が低下し、人

件費などの運行コストと見合わなくなることが最大の要因となり、同会議所は、自動運転のカーブな低コストで住宅地と公共施設や病院、商店街を結ぶ地域密着の次世代交通になる」とみている。

既に自動運転のため路上に電磁誘導線を使った走行実験も実施しており、自動運転を可能にする規制緩和を国に働きかける方針。

12日は観光拠点である道の駅「輪島から」と訪客で関係者や市民約100人が集まり、出発式が行われ、市民らが静かで快適な乗り心地を確かめた。試乗した市民からは「乗り降りしやすくお年寄りも安心して利用できる」「隣の人との会話をしめ、開放的なので

に電磁誘導線を使った走行実験も実施しており、自動運転を可能にする規制緩和を国に働きかける方針。

観光にもいい」といった声がかれた。

今後、台数を増やして道の駅、中心商店街、朝市通りを結ぶルートなどで走らせる。高齢者ら住民が商店街に買い物に出やすくなり、観光客にも利便性を体感してもらおう。一般車両などの交通に与える影響や回遊性の向上など、導入効果や課題の検証を進める。

本格運用時には生活路線、観光拠点を結ぶ路線など複数の循環ルートを設ける計画で、会議所の里谷光弘会頭は「安倍政権の掲げる地方創生に合致する取り組みであり、住民にも観光客にも優しいホスピタリティ（もてなし）都市・輪島の魅力アップにつなげた」と話した。

ゆっくりエコカート

ナンバー付け公道へ

輪島商工会議所の電動カート(エコカート)二台が、公道走行に必要なナンバーを取得し、輪島市の道の駅輪島ふらっと訪夢で十二日、出発式があった。公道走行用エコカートのナンバー取得は全国初。(松瀬晴行)

里谷光弘会頭があいさす。ターボワンプロダクツつ。北陸信越運輸局石川の鈴木恒司社長らが祝。運輸支局の山下明次長、辞。出席者や市民らが道製造メーカーヤマハモの駅のターミナルで試乗

全国初、輪島で出発式



軽乗用車ナンバーの交付を受け、試乗走行するエコカート。輪島市の道の駅輪島ふらっと訪夢前で

した。

ヘッドライトや方向指示器などを付けてゴルフカートを改良。低床で乗りやすく、アクセルを踏み込んでも時速二十キロ未満しか出ない構造で、一回の充電(約八時間)で二十キロ以上走行できる。商議所は市街地の回遊性を高めようと、二〇一〇年度から調査を開始。

一、二年度には白米千枚田周辺などで社会実験を行い、昨年九月には公道で初の試験走行を実施した。

今後はエコカートの台数を増やす考えで、将来的には高性能センサーを搭載するなどして安全性をより高め、無人走行を目指す。

里谷会頭は「まだまだ課題は多いが、ナンバー取得は大きな一歩。規制緩和が必要になるが、高齢者や観光客がエコカートを乗り継いで輪島のまちなかや商店街を自由に移動できるようになれば」と期待していた。